

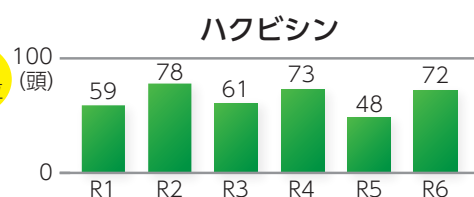
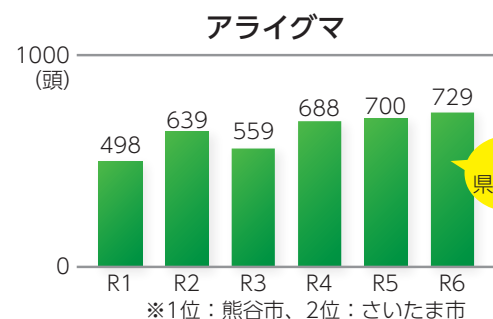
農作物・生活環境に被害を及ぼす生物 ～正体は何だ!?!～



提供：野生生物研究所ネイチャーステーション 古谷益朗さん

これはアライグマの被害にあったスイカとトウモロコシの写真です。市内では、アライグマ・ハクビシン・イノシシといった野生動物による農作物や家屋等への被害が発生しています。今回の特集では、そのような野生動物の生態や、被害への市の取組、私たちができる対策方法についてお伝えします。

近年の年間捕獲頭数(東松山市内)



主な被害内容

- 【農作物被害】
ブドウ、梨、スイカ、
トウモロコシ、柿 等
- 【家屋被害】
屋根裏侵入、ふん尿 等
- 【その他被害】
ペット(メダカ、鳥)

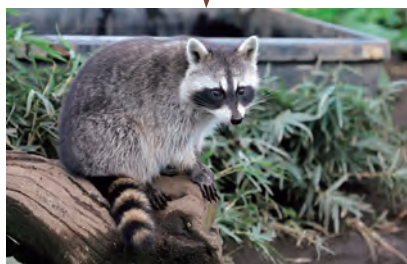
アライグマ・ハクビシンはこんな動物

アライグマ (特定外来生物)

頭胴長：42～60cm

繁殖期は春季に集中し、4～6月に3～6頭出産する

手先が器用



雑食性で、農作物のほか、昆虫や小動物を食べる

木登りが得意

前肢を使ってくみくみように中身だけを食べる(スイカの場合)

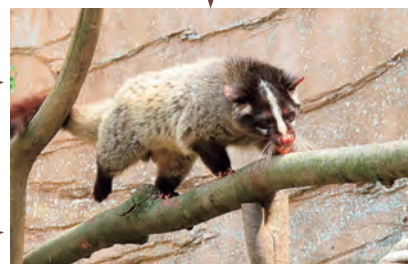
食べ方の違い

ハクビシン (外来生物)

頭胴長：40～70cm

繁殖は通年で、2・3頭出産する

バランス感覚にも優れていて、綱渡りも得意



顔を突っ込んで中身を食べる(スイカの場合)

⚠ 特定外来生物：外来生物(海外起源の外来種)であり、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるもの

アライグマ・ハクビシンに対する市の取組

本市では月・水・金曜日の午前中に専門の職員が捕獲の必要性を判断して箱わなを設置し、箱わなにかかったアライグマ・ハクビシンの回収・処分を行っています。被害にお困りの方は環境政策課までご連絡ください。



前肢を使って餌を手繰り寄せる性質を利用したわな



わなにかかったアライグマ



職員による回収の様子

自分でわなを設置する場合は…

アライグマは、外来生物法に基づき策定された「埼玉県アライグマ防除実施計画」に基づき、県が主催するアライグマ捕獲従事者研修(※)を受講し、従事者登録することで捕獲が可能です。

ハクビシンは、鳥獣保護管理法に基づく狩猟免許の保持者でないと捕獲することはできません。

※本年度の研修会は9月下旬で締め切っていますが、応募状況により参加可能な場合もあります。参加を希望する方は、環境政策課までお問い合わせください。



市HP

県HP

イノシシはこんな動物

成長すると牙が生え、雄は体重100kgにもなる

時速45kmで走ったり、鼻先で70kgの物を持ち上げたりすることもある

雑食性で、農産物のほか、昆虫や小動物を食べる



基本的には臆病だが、慣れると大胆不敵になる。一度「餌場」と記憶した田畑は何度でも侵入する

出産期は4～6月で年1回、4・5頭を出産する



市HP

イノシシに出会ってしまったら…

慌てて走らない!

落ち着いて、速やかにその場を離れ、建物や高い場所に避難しましょう。



挑発しない!

イノシシと出会っても、大声を出したり、物を投げたりしないでください。



近づかない!

イノシシを見かけた場合は、イノシシから見えないところに移動してください。



私たちができる野生動物の被害を防ぐ3つの対策

① 餌付け要因をなくす!

畑の隅に捨てられた野菜クズや収穫せずに放置された柿や栗などの果樹は、野生動物にとって貴重な餌となり、格好の餌場となることがありますので、摘果などの際は適切に処分しましょう。

② 隠れ場所をなくす!

耕作放棄地や竹やぶなどは野生動物の隠れ場所になり、安心して生活できる場所になりやすいため、定期的な除草や剪定を行い、隠れ場所を減らすようにしましょう。

③ 防護柵は効果的に設置する!

防護柵は、動物の行動を理解して正しく設置しなければ、その効果は小さくなってしまいます。適切に設置し、定期的な見回りと点検を行うようにしましょう。

対策を知って、被害を防ごう!



イノシシから 私たちを守ってくれている!

埼玉県猟友会 東松山地区(東松山猟友会)

本市では、イノシシによる農作物や人的被害の防止に向けて、市民からの相談を受け付けています。東松山猟友会(※)と緊密に連携しながら現地を確認し、猟友会の専門的な知見をもとにわなの設置等を実施しています。イノシシは警戒心が非常に強く、人の臭いにも敏感であるため、足跡や行動パターンに精通した経験者でなければ、効果的な捕獲は困難です。

引き続き猟友会との連携を強化し、地域の農業や生活環境を守るための取組を継続していきます。



東松山猟友会の皆さん



現地到着



わな運搬



わな設置

会長からの一言

農業被害の減少に向けて

最近、市内でイノシシ等の出没情報が寄せられています。有害鳥獣による農作物の被害は、農業を営む方の意欲の減退による耕作放棄地の増加など深刻な影響を及ぼしています。東松山猟友会では、市から依頼を受けて箱わなを設置し、捕獲を実施しています。今後も農地を守る担い手として、出没情報に基づいて足跡の確認をし、農業被害の減少に取り組んでまいります。

新たな仲間を募集中!

狩猟は法定猟法により、狩猟鳥獣の捕獲等をするを言いますが、その目的は様々で、ジビエを楽しむ、山、川、池、沼といった自然を体験しながら、鳥獣と出会う楽しみ、自らの知恵と腕を発揮し、愛犬や猟友とのチームワークで獲物を狩る楽しみがあります。

東松山猟友会では、会員の高齢化が進んでいることから、新たな担い手として新規入会会員を募集しています。入会後は、射撃の訓練や山野での行動、狩猟免許の更新など丁寧に協力指導いたします。興味のある人は、ぜひお声がけください。

問 田幡さん ☎57-1533



会長 田幡只夫さん



県HP

外来害虫による被害も!

ピンチ! サクラが見られなくなるかも…!? クビアカツヤカミキリの被害が市内で拡大中



サクラ、モモ、ウメ、スモモなどの樹木に侵入した幼虫が、樹の内部を食べて枯らしてしまいます。

【成虫の特徴】

- 体長2.5～4cm
- 前胸の背面が赤い
- 体が黒くツヤツヤしている
- 成虫は6～8月に発生
- 1匹の産卵数が最大1,000個と他のカミキリムシに比べて多い

⚠ 特定外来生物に指定



市HP



県環境科学国際センターHP

こんなときは!!

- クビアカツヤカミキリを発見したら…
市販の殺虫剤を用いるほか、熱湯をかける、靴で踏みつぶす等の方法で駆除をお願いします。
- 市内でフラスを発見したら…
環境政策課までご連絡ください。
☎環境政策課 ☎63-5006 ☎23-7700
- 被害で困ったら…
県環境科学国際センターHP「被害防止の手引」をご覧ください。



被害の目印だよ!

幼虫が発生させる木くずとフンが混ざったフラス



フラス

野生動物～見分け方～

☆表紙の答え☆

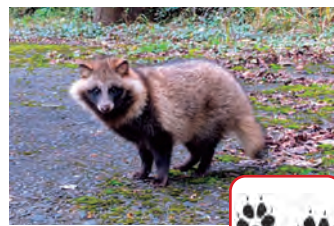


アライグマ (アライグマ科)

- 眉間に黒い筋
- 尾は長く、縞模様がある
- 足跡は5本の指がはっきり分かっている



⚠ 特定外来生物に指定



タヌキ(イヌ科)

- 全体的に茶色
- 尾は短い
- 犬に似た足跡



※本市では駆除しません



ハクビシン (ジャコウネコ科)

- 顔の中央に白い線がある
- 尾は長い
- 足跡は5本指で、丸みを帯びている



アナグマ(イタチ科)

- 鼻の先端にかけて細長い
- 尾は覆われ短くて太い
- 足跡は横に広く、長い爪の跡がつく



※本市では駆除しません

⚠ 特定外来生物を生きたまま持ち運ぶ、飼う、別の場所に放すなどの行為は法律で禁止されています。

特集に関する問合せ 環境政策課 ☎63-5006 ☎23-7700